

エフサステクノロジーズ株式会社

エンドユーザーソフトウェア使用許諾契約書【参考訳】

本許諾規定は、英語版を正文とする。日本語翻訳版は参考とする。

1. 本契約書の対象

1.1 本契約書において“本ソフトウェア”は、エフサステクノロジーズ株式会社、富士通株式会社またはそれらの子会社（以下「エフサステクノロジーズ」といいます）のソフトウェア製品データシートにオブジェクトコード、バージョン、仕様が記載されているソフトウェアとファームウェアを意味します。“本ファームウェア”は、エフサステクノロジーズのハードウェアデバイスにプログラムされた命令セットまたはソフトウェアプログラム、またはエフサステクノロジーズによって別途提供されたそのようなプログラムのアップデートバージョンを意味します。

本ソフトウェアは、機械可読な使用説明書、印刷物、使用を許諾された関連品（「ドキュメント」といいます）からなります。

1.2 本ソフトウェアをご使用になる前にこの契約書を注意してお読みください。本契約書のライセンス条項に同意されない場合、本ソフトウェアを使用することはできませんので、必ず本ソフトウェアのすべてのコピーとすべての添付品を購入証明書とともに直ちにライセンサー/サブライセンサー(エフサステクノロジーズまたはお客様に本ソフトウェアを提供した再販業者)へ返送してください。代金を全額返却いたします。

ファームウェアの場合には、本ファームウェアを使用することはできません。

1.3 本ソフトウェアの使用には、該当するライセンス料の適正な支払いを必要とします。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は本契約書の条項に拘束されることに同意されたものとします。

1.4 エフサステクノロジーズは、ソフトウェア違法コピーへの対策として、将来いつでも、追加のソフトウェアライセンスキーやライセンス証明書を付加する権利を保有します。

1.5 サードパーティーソフトウェアサプライヤーから提供されたソフトウェアコンポーネントは、別個のライセンス契約の対象となります。そのライセンス契約書は本ソフトウェアに付属しているか、要求があればエフサステクノロジーズから送付します。

2. エンドユーザーライセンス

2.1 エフサステクノロジーズは、お客様が購入されたライセンス数のワークステーションで本ソフトウェアを使用する非独占的で譲渡不能なライセンスを許諾します。追加のライセンスを購入されない限り、最大ライセンス数を超えるワークステーションで、または指定のタイプを超えるハードウェアで、本ソフトウェアを操作することは許されません。

アーカイブ目的で本ソフトウェアのバックアップコピーを作成することができます。ただし、本ソフトウェアのコピーまたは部分コピーに著作権表示その他の所有権情報を正しく表示することが必要です。

2.2 本ソフトウェアをコピー、修正、または頒布してはいけません。さらに、本ソフトウェアのリコンパイル、リエンジニアリング、改造、変更、コンパイル、修正を行ってはいけません。お客様は本ソフトウェアに対応す

るハードウェアを売却することなくサブライセンスしてはならず、また本ソフトウェアを割当、譲渡、賃貸、リース、あるいは移転してはなりません。ただし本契約書により明示的に許可されている場合、または強制的法規による場合を除きます。

2.3 本ソフトウェアをプログラム・アップグレードとして取得された場合、本ソフトウェアのアップグレードバージョンをインストールすると旧ソフトウェアバージョンのライセンスは自動的に終了します。旧ソフトウェアバージョンの一部分をアップグレードバージョンに置き換えた場合は、旧ソフトウェアバージョンの残りの部分も置き換えられるかまたは非 Active 化、またはシャットダウンされるまで、旧ソフトウェアバージョンのライセンスは引き続き有効です。

2.4 エフサステクノロジーズの対応するソフトウェアデータシートで特に指定されている場合を除き、あるソフトウェアバージョンまたはリリースに対するライセンスは、本ソフトウェアの新たなリリース (アップデート)、新たなバージョン (アップグレード) またはテクニカルサポートサービスに対する権利を付与しません。新たなリリース、新たなバージョン、追加のテクニカルサポートサービスを含めるまたは含めない補足サポート契約およびメンテナンスサービスは、直接、エフサステクノロジーズから、または認可ソフトウェア再販業者から、別途購入することができます。

2.5 お客様はドキュメントに記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

3. ダウンロード

エフサステクノロジーズよりネットワークまたは類似の頒布経路を通じて提供されたソフトウェアについては、次の追加条件が適用されます。

エフサステクノロジーズよりダウンロードのために提供された製品はすべて選定され、利用可能にされ、また一サードパーティーより供給された場合は一修正なしに提供されています。ただし最新バージョンを確認することと、ダウンロードするマテリアルのお客様自身の目的に対する使用性とご使用のシステム上での使用性を確認することは、お客様の全面的責任です。本ソフトウェアはお客様自身のリスクでダウンロードしてください。エフサステクノロジーズは責任を負わず、特に伝送エラーやダウンロードプロセスの間に発生する問題 (回線故障、接続遮断、サーバ故障、データ破損など) については一切責任を負いません。

エフサステクノロジーズのウェブサイトは、エフサステクノロジーズが 1 か所以上のオフィスを置いている国のためにのみ運用、管理されています。本ソフトウェアや文書類が上記の国々以外の場所でもエフサステクノロジーズのウェブサイトからダウンロードできること、またはその可能性があることについて、エフサステクノロジーズは責任を負いません。お客様が国外からエフサステクノロジーズのウェブサイトアクセスされる場合は、お客様には現地の法規を順守する全面的責任があります。エフサステクノロジーズは、本ソフトウェアや文書類をエフサステクノロジーズのウェブサイトからダウンロードすることが違法と見なされている国において、そのようなダウンロードを行うことを明示的に禁じます。

4. 著作権

本ソフトウェア (本ソフトウェアの一部を含む) にかかわるすべての権利とライセンス (本使用許諾契約において明示的にお客様に譲与されたものを除く)、ならびにすべての所有権と使用权は、全面的にエフサステクノロジーズがサードパーティーライセンサー、またはその両者の所有となります。

本使用許諾契約はお客様に対し、エフサステクノロジーズまたはサードパーティーライセンサーのブランド、ロゴ、または商標を使用する許可を与えるものではなく、お客様はエフサステクノロジーズのブランド、ロゴ、または商標に紛らわしく類似した他のブランドを使用することも許されません。本ソフトウェアまたはエフサステクノロジーズに関してブランド、ロゴ、または商標を使用するには、そのつどエフサステクノロジーズの明示的同意を必要とします。

5. 本ソフトウェアが再販業者により販売・納入された場合のライセンサーの保証および責任の否認

お客様が本ソフトウェアを直接、認定再販業者 (以下“再販業者”という) から購入された場合は、本ソフトウェアをインストールし使用する権利は、ライセンサーとしてのお客様とそれぞれの再販業者との間で合意する追加のソフトウェアライセンス条件に従うことがあります。

認定ソフトウェア再販売の場合はすべて、ソフトウェアは再販業者より直接ライセンサーにサブライセンスされ、利用可能にされます。その場合、エフサステクノロジーズは、ソフトウェアライセンスの取得に関する限り、ライセンサーであるお客様と再販業者との間のソフトウェアライセンス契約の契約当事者ではありません。したがって、ソフトウェアライセンスをめぐる法的請求は、再販業者との契約を基礎としてのみ主張することができます。ただしいかなる場合も、ライセンサーとして認められる使用許諾の範囲は、本契約書の第 1、2、3、および 4 条に明記された使用許諾契約の範囲を超えないものとします。

強行法規、特に賠償責任と保証を律する強行法規で、エンドユーザー使用許諾契約に関する規則に関連して、またライセンサーの再販業者に対する請求権に関して免責され得ない法規に従うことを条件として、エフサステクノロジーズは本契約書において本ソフトウェアに関する一切の保証を否認します。同じ理由により、エフサステクノロジーズは、サードパーティーの権利の侵害についての一切の賠償責任/請求、またソフトウェアの市販性や特定目的への適合性に関する黙示的保証も否認します。この責任の否認はエフサステクノロジーズの故意または悪意ある行動に対しては適用されません。

本エンドユーザー使用許諾契約において、エフサステクノロジーズは明示的または黙示的を問わずいかなる種類の保証も行いません。

6. シェアウェア、フリーウェア、オープンソースソフトウェア・コンポーネントに関する責任の否認

6.1 本ソフトウェアは、エフサステクノロジーズがサードパーティーから受け取ったフリーウェアまたはシェアウェアを含むことがあります。エフサステクノロジーズはそうしたフリーウェアまたはシェアウェアの使用に対しライセンス料を支払っていません。したがって、ライセンサーは当該フリーウェアまたはシェアウェアの使用に対しライセンス料を請求されません。お客様は、エフサステクノロジーズがそれゆえこうしたフリーウェアまたはシェアウェア・コンポーネントに関して保証を与えず、またそれぞれのフリーウェアまたはシェアウェアの所有、頒布、使用に関連するいかなる賠償責任も引き受けないことを認め、受け入れます。

6.2 本ソフトウェアは、「オープンソースモデル」にしたがい開発され、多くの場合 GPL (General Public License: <http://www.gnu.org/copyleft/gpl.html>) 条件、または配布時にそれぞれのオープンソースコンポーネントに適用される他の標準オープンソース使用許諾条件に基づき頒布されるオープンソースソフトウェアコンポーネントを含むことがあります。お客様は、こうしたオープンソースソフトウェアコンポーネントの使用許諾が多くの場合上記の GPL 条件かまたは他の形でオープンソースソフトウェアコンポーネントに付属している条件に準拠することを認め、受け入れます。エフサステクノロジーズは、提供したオープンソースソフトウェアコンポーネントについてライセンス料もその他の報酬も受け取っていません。エフサステクノロジーズまたはサードパーティーがオー

オープンソースソフトウェアコンポーネントに関連して何らかの報酬を受け取るとき、多くの場合、追加のデリバリーアイテムやサービスの対価として受け取るものです。

オープンソースソフトウェアコンポーネントの開発及び頒布の特殊性にかんがみ、エフサステクノロジーズはその種のコンポーネントについて明示的か黙示的かを問わず一切責任を負わず、またそのようなオープンソースソフトウェアコンポーネントについて、特に仕様不足、機能の欠如、プログラミングエラー、その他の誤作動に関して、いかなる保証も免責されるものとします。

7. 賠償責任の一般的限定

7.1 エフサステクノロジーズも同社のサプライヤーも、業務中断、利益や売上の逸失、データ損失、または資本コストに由来または関連する損害を含め、いかなる派生的・間接的損害についても賠償責任を負いかねます。エフサステクノロジーズと同社のサプライヤーは、本ソフトウェアの保持、販売、使用または使用不能に由来する追加の付随的・派生的費用、または他のいかなる種類の損失、費用、経費についても、賠償責任を負いかねます。この場合、当該請求が保証を受ける権利、契約、不法行為責任、または他の法的理論により主張されているかどうかはわかりありません。

7.2 エフサステクノロジーズ側の、免責されていないか、強行法規のために完全には免責され得ない契約違反やその他の行為、または失効の結果直接的損害が生じた場合、当該損害に対するエフサステクノロジーズの賠償責任は\$300,000.00を限度とします。直接的損害に対する他の一切の賠償責任は免責されるものとします。エフサステクノロジーズの軽微な過失の結果生じた損害は、適用法規の許容する範囲まで免責されるものとします。

7.3 本契約書による賠償責任の限定および免責は、エフサステクノロジーズが適用法規にしたがい義務的賠償責任を負い、かつ当該賠償責任が最大額まで制限できない損害(例えば、身体的損害、製造物責任や悪意ある虚偽報告による損害)には適用されません。

7.4 お客様は、対象プログラムが、一般事務用、個人用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」といいます)に使用されるよう設計・製造されたものでないことを確認するものとします。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、対象プログラムをハイセイフティ用途に使用しないものとします。また、お客様がハイセイフティ用途に対象プログラムを使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても、エフサステクノロジーズは責任を負わないものとします。

8. 輸出管理

そのコンポーネント、あるいはコンポーネントの性質または目的のために、本ソフトウェアや付属する文書類の輸出は監督官庁による承認が必要となる場合があります。本ソフトウェアの輸出を意図している場合は、お客様は関連する輸出管理法規を順守するために必要なすべての承認および許可を取得しなければなりません。

本ソフトウェアが核、化学、または生物兵器に関連して、またはミサイル技術のために用いられると推定される理由がある場合には、本ソフトウェアを輸出してはなりません。さらにお客様は、米国の適用輸出規制(特に、Table

of Denial Orders/U.S.輸出否認命令表、Denied Persons Lists 輸出否認者リスト(DPL))、E.U. の輸出規制 (特に EU Terrorist List テロリストリスト)、または日本の輸出当局や他のいずれかの国の管轄当局より公布される該当する警告に記載されている企業または人物に対し、本ソフトウェアを引き渡してはならず、間接的に引き渡されてもなりません。

日本、欧州連合、アメリカ合衆国、または他の国々の適用輸出規制への違反となる場合は、いかなる状況でもエフサステクノロジーズはソフトウェア、パッチ、アップデート、またはアップグレードを提供する義務も、ダウンロードその他の契約上の約定を遂行するためのソフトウェアを提供する義務も負いません。

本ソフトウェアまたはそのコピーを輸出または再輸出する場合、それは適用輸出法規への違反、かつ本契約書の条件への重大な違反となる可能性があります。

9. その他

9.1 本契約書のいずれかの条件または本契約書の条件に従う他の契約のいずれかの条件が (一部または全部) 無効もしくは強行不能と判明した場合、それ以外のすべての条件の有効性は影響を受けません。ただし、法律の隙間を埋めるべく適用可能な法律規則を適用しても、残余の契約条件を順守することがいずれかの契約当事者にとって不当な困難となるであろう場合は、その限りではありません。

9.2 お客様/ ライセンシーが支払期限までにライセンス料を支払わない、またはライセンシーが本使用許諾契約の必須条件を順守しない場合は、エフサステクノロジーズは、本使用許諾契約を解除する権利を有します。かかる契約解除の場合には、保有する本ソフトウェアのあらゆるコピーを直ちに返却し、[ソフトウェアコピーの] 完全な返却または当該コピーの破棄を文書で確認し、本ファームウェアの使用を直ちに中止しなければなりません。

9.3 いずれかの当事者に義務の不順守があっても、その不順守がその当事者の統御を超えた不可抗力による場合は、お客様もエフサステクノロジーズも当該不順守について責任または賠償責任を問われないものとします。

9.4 本使用許諾条件のあらゆる変更や修正は、文書に作成される場合にのみ有効とします。

9.5 エフサステクノロジーズは、自己負担でお客様が使用しているソフトウェアの用法だけでなく、コピーおよびインストールされたソフトウェアの数を監査するために、エフサステクノロジーズの人員が独立した第三者を任命するかもしれません。このような監査は、30 日前に通知され、お客様の通常営業時間内に実施されますが、むやみにお客様のビジネスを妨げないものとします。

10. 準拠法

10.1 本使用許諾条件は日本の法律に準拠します。

10.2 万一第 10.1 条の規定が強行不能とされた場合には、これらの使用許諾条件はお客様が本ソフトウェアを取得した国の法律に準拠するものとします。ただし次の国々は別とします。1) オーストラリアでは、本使用許諾契約の条件は、事業契約が締結されている州または主権領土の法律に準拠します。2) アルバニア、アルメニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、チェコ共和国、ジョージア、ハンガリー、カザフスタン、キルギス、北マケドニア共和国、モルドバ、ポーランド、ルーマニア、ロシア、スロバキア、スロベニア、ウクライナ、セルビア共和国およびモンテネグロでは、本使用許諾契約の条件はドイツ連邦共和国の法律に準拠します。3) 英国では、これらの使用許諾条件に関するすべての紛争は英国法に準拠し、英国の裁判所が専属管轄権を有します。4) カナダでは、本使用許諾契約の条件はオンタリオ州法に準拠します。5) アメリカ合衆国とプエルトリコ、ならびに中華人民共和国では、本使用許諾契約の条件は米国、ニューヨーク州の法律に準拠します。